



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年2月5日

上場会社名 リスクモンスター株式会社
 コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 藤本 太一
 (氏名) 吉田 麻紀
 TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,224	4.4	377	16.4	383	16.5	241	16.0
2018年3月期第3四半期	2,130	6.0	324	7.6	329	7.5	208	8.0

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 232百万円 (△33.2%) 2018年3月期第3四半期 347百万円 (64.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	62.48	62.37
2018年3月期第3四半期	53.47	52.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	5,399	4,490	81.8	1,140.56
2018年3月期	5,279	4,357	81.3	1,103.29

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 4,417百万円 2018年3月期 4,292百万円

(注)『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2019年2月5日)に公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,950	4.9	430	6.2	430	5.3	270	3.0	69.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	3,923,500 株	2018年3月期	3,923,500 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	50,200 株	2018年3月期	33,200 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	3,864,784 株	2018年3月期3Q	3,894,159 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 7「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
3. 補足情報	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、原油価格の下落や自然災害の影響が収束に向かい、景気は堅調に推移しているものの、中国経済の減速や貿易摩擦の先行き懸念などから、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第5次中期経営計画（2016～2018年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・「Japan IT Week春 第9回クラウドコンピューティングEXPO」に当社グループ全社が出展（5月）
- ・当社グループのBPO事業の中核会社であるリスモン・マッスル・データ株式会社と日本アウトソース株式会社が東京都渋谷区から東京都品川区西五反田7丁目24番5号に移転（5月）
- ・財務分析に特化した「RM財務格付」の与信判断指標を改良（6月）
- ・リスモン・ビジネス・ポータル株式会社がJ-MOTTO（ジェイモット）のオプションサービスである「Web給与明細」及び「J-MOTTOワークフロー」を個別サービスとして提供開始（6月）
- ・格付ロジックを改定（6月）
- ・クラウド型「決算書分析システム」の提供開始（7月）
- ・商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」スマートフォンアプリ提供開始（9月）
- ・e-与信ナビ「反社ワード記事検索」提供開始（10月）
- ・J-MOTTOグループウェアのスケジュール機能と各種スマートフォンのスケジュールを双方向同期するサービス「desknet's Sync」提供開始（11月）
- ・サイバックスUniv. に「オリジナルeラーニング搭載機能」提供開始（11月）
- ・「中国企業版ポートフォリオ分析サービス」提供開始（11月）
- ・格付ロジックを改定（12月）
- ・当第3四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果（4月）
 - 「離婚したくなる亭主の仕事」調査結果（5月）
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（6月）
 - 「金持ち企業ランキング」調査結果（7月）
 - 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査結果（7月）
 - 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」調査結果（8月）
 - 「100年後も生き残ると思う日本企業」調査結果（9月）
 - 「隣の芝生（企業）は青い」調査結果（10月）
 - 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」調査結果（11月）
 - 「企業の取引リスクに対する意識」調査結果（12月）
- ・当第3四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「機械器具小売業」（4月）
 - 「職業紹介・労働者派遣業」（5月）
 - 「情報通信機械器具製造業」（6月）
 - 「繊維工業」（7月）
 - 「織物・衣服・身の回り品小売業」（8月）
 - 「広告業」（9月）
 - 「物品賃貸業」（10月）
 - 「印刷・同関連業」（11月）
 - 「飲食料品小売業」（12月）

<連結業績について>

当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高 (千円)	2,130,319	100.0	2,224,184	100.0	104.4
営業利益 (千円)	324,669	15.2	377,966	17.0	116.4
経常利益 (千円)	329,117	15.4	383,335	17.2	116.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	208,236	9.8	241,473	10.9	116.0

	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計 (注)	11,241	12,015	774

(注) 会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

(売上高)

会員数が増加したこと等から、主力の与信管理サービス及び教育関連事業の売上高が増加したため、連結の売上高は2,224,184千円（前年同期比104.4%）となりました。

(営業利益及び経常利益)

新規会員獲得やサービス拡販のための体制強化に注力するため、コールセンターの増員やWebマーケティングを強化し、また、BPOサービスがセグメント損失となったものの、利益率の高い主力の与信管理サービスの売上高が増加したこと等により、営業利益は377,966千円（前年同期比116.4%）、経常利益は383,335千円（前年同期比116.5%）となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

BPOサービスの事務所及び国内センター移転に伴い一時費用を計上したものの、主力の与信管理サービスの売上高が増加したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は241,473千円（前年同期比116.0%）となりました。

(会員数合計)

会員数を増やすための施策に注力した結果、当第3四半期連結会計期間末における会員数は12,015会員と順調に増加いたしました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

与信管理サービス等の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）		1,059,152	1,122,354	106.0
	ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス（千円）	208,722	227,176	108.8
	その他（千円）	61,722	64,892	105.1
コンサルティングサービス売上高合計（千円）		270,444	292,068	108.0
売上高合計（千円）		1,329,597	1,414,423	106.4
セグメント利益（千円）		240,899	288,654	119.8

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス等（注）	5,789	6,100	311

（注） サービス相互提携を行う会員を含む

当第3四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は1,414,423千円（前年同期比106.4%）、セグメント利益は288,654千円（前年同期比119.8%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスは、会員数が増加し定額の利用料が積み上がったことに加え、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、1,122,354千円（前年同期比106.0%）となりました。

ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスは、ポートフォリオサービスの受注件数と受注単価が増加したことに伴い227,176千円（前年同期比108.8%）、金融サービス等を含むその他の売上高が64,892千円（前年同期比105.1%）と共に順調だったため、コンサルティングサービスの売上高の合計は292,068千円（前年同期比108.0%）となりました。

セグメント利益につきましても、新規会員獲得やサービス拡販のためにコールセンターの増員を行ったものの、売上高が増加したこと等により前年同期を大きく上回りました。

イ) ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス（千円）		383,432	378,987	98.8
その他（千円）		35,975	35,670	99.2
売上高合計（千円）		419,407	414,657	98.9
セグメント利益（千円）		135,249	128,129	94.7

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）	3,041 (129,025)	3,123 (136,203)	82 (7,178)

（注）（ ）は外数でユーザー数

当第3四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高の合計は414,657千円（前年同期比98.9%）、セグメント利益は128,129千円（前年同期比94.7%）となりました。
 会員数及びユーザー数が増加したものの、ディスク容量の利用が減少したため、売上高合計はほぼ前年同期並みとなりました。利益につきましては、利益率が高いディスク容量の利用が減少したことや、新規会員獲得やサービス拡販のために、お客様をサポートするコールセンターを増員したこと等により、セグメント利益は前年同期を下回りました。

ウ) BPOサービスについて

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計（千円）	277,147	277,510	100.1
セグメント損失（千円）	15,453	15,570	—

当第3四半期連結累計期間のBPOサービスの売上高は277,510千円（前年同期比100.1%）、セグメント損失は15,570千円（前年同期はセグメント損失15,453千円）となりました。

国内センター拡大のために移転し、固定費が増加したこと等により、前年同期並みの損失となりました。

エ) その他サービスについて

「教育関連事業」等を含むその他のセグメントの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計（千円）	219,759	232,805	105.9
セグメント利益（千円）	17,156	33,068	192.7

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
その他サービス（注）	2,411	2,792	381

（注）定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v . 」または中国における与信管理及びグループウェアサービス等を利用できる会員
 なお、当第3四半期連結会計期間末より、「サイバックスU n i v . 」に登録している従量制会員も含めております。

当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は232,805千円（前年同期比105.9%）、セグメント利益は33,068千円（前年同期比192.7%）となりました。

当第3四半期連結累計期間の教育関連事業は、労働者派遣法の改正による教育訓練の義務化等が追い風となり、定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v . 」の会員数が2,179会員に増加し、定額の利用料が積み上がったこと等により、売上高は好調に推移しました。

また、当社グループ商材の海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）が運営する与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、613会員となりました。

セグメント利益につきましては、教育関連事業における売上高増加が寄与し、前年同期を大きく上回りました。

なお、当社グループのセグメントを、法人会員向けビジネスとその他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス等、イ) ビジネスポータルサイト及び エ) その他サービスのうちの教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

事業別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
与信管理サービス等（千円）	1,329,597	1,414,423	106.4
ビジネスポータルサイト（千円）	419,407	414,657	98.9
教育関連事業（千円）	110,143	122,981	111.7
法人会員向けビジネス売上高合計（千円）	1,859,148	1,952,062	105.0
与信管理サービス等（千円）	240,899	288,654	119.8
ビジネスポータルサイト（千円）	135,249	128,129	94.7
教育関連事業（千円）	16,295	30,681	188.3
法人会員向けビジネス利益合計（千円）	392,444	447,465	114.0

会員数	前第3四半期 連結会計期間末	当第3四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス等	5,789	6,100	311
ビジネスポータルサイト（注）	3,041 (129,025)	3,123 (136,203)	82 (7,178)
教育関連事業	1,772	2,179	407
法人会員向けビジネス会員数合計	10,602	11,402	800

（注）（ ）は外数でユーザー数

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、ウ) BPOサービス及び エ) その他サービスのうちのその他であります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、613会員となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	386,763	387,334	100.1
その他ビジネス損失（千円）	14,592	13,183	—

(2) 財政状態に関する説明

		前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額
	流動資産（千円）	2,416,843	2,595,244	178,401
	固定資産（千円）	2,863,155	2,804,725	△58,430
資産合計（千円）		5,279,998	5,399,969	119,970
	流動負債（千円）	445,736	474,178	28,442
	固定負債（千円）	476,819	435,676	△41,142
負債合計（千円）		922,555	909,855	△12,700
	純資産（千円）	4,357,443	4,490,114	132,670
負債純資産合計（千円）		5,279,998	5,399,969	119,970

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ178,401千円増加し、2,595,244千円となりました。これは主に、現金及び預金ならびに売掛金が増加したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ58,430千円減少し、2,804,725千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ119,970千円増加し、5,399,969千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ28,442千円増加し474,178千円となりました。これは主に未払金やその他流動負債が増加したことによるものです。固定負債は41,142千円減少し435,676千円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ12,700千円減少し、909,855千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べ132,670千円増加し、4,490,114千円となりました。また、自己資本比率は81.8%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度末に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,950百万円（前連結会計年度比104.9%）、営業利益430百万円（前連結会計年度比106.2%）、経常利益430百万円（前連結会計年度比105.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益270百万円（前連結会計年度比103.0%）を予定しております。

業績予想に対する当第3四半期連結累計期間の進捗といたしましては、売上高はほぼ当初の予定どおり、利益は当初の予定を上回りました。

なお、現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益
2019年3月期予想	2,950	430	430	270
2019年3月期第3四半期実績	2,224	377	383	241
進捗率（%）	75.4	87.9	89.1	89.4

また、業績及び配当性向等を総合的に勘案し、2018年11月5日公表の配当予想について次のとおり修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2019年3月期 当初予想	-	16円00銭	16円00銭
2019年3月期 修正予想	-	17円00銭	17円00銭

詳細につきましては、本日（2019年2月5日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,813,891	2,022,817
受取手形及び売掛金	376,995	405,637
有価証券	99,999	99,999
原材料及び貯蔵品	12,468	10,412
その他	114,337	57,124
貸倒引当金	△849	△747
流動資産合計	2,416,843	2,595,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	540,301	553,236
減価償却累計額	△75,225	△91,468
建物及び構築物（純額）	465,076	461,768
工具、器具及び備品	450,915	440,531
減価償却累計額	△361,890	△349,059
工具、器具及び備品（純額）	89,025	91,472
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,860
減価償却累計額	△3,240	△3,847
リース資産（純額）	1,620	1,012
建設仮勘定	200	-
有形固定資産合計	1,124,274	1,122,605
無形固定資産		
ソフトウェア	557,782	560,751
その他	45,043	45,826
無形固定資産合計	602,826	606,577
投資その他の資産		
投資有価証券	1,088,506	1,031,536
貸倒引当金	-	△133
その他	47,549	44,138
投資その他の資産合計	1,136,055	1,075,541
固定資産合計	2,863,155	2,804,725
資産合計	5,279,998	5,399,969

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	204,920	210,308
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	70,088	66,416
賞与引当金	740	275
その他	109,826	137,017
流動負債合計	445,736	474,178
固定負債		
長期借入金	335,960	298,340
退職給付に係る負債	7,626	6,514
その他の引当金	7,027	8,812
その他	126,204	122,009
固定負債合計	476,819	435,676
負債合計	922,555	909,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	1,007,130	989,085
利益剰余金	1,836,467	2,019,587
自己株式	△48,070	△70,922
株主資本合計	3,951,520	4,093,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327,909	312,283
為替換算調整勘定	12,689	11,715
その他の包括利益累計額合計	340,598	323,999
新株予約権	157	-
非支配株主持分	65,166	72,371
純資産合計	4,357,443	4,490,114
負債純資産合計	5,279,998	5,399,969

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
売上高	2,130,319	2,224,184
売上原価	947,513	983,428
売上総利益	1,182,805	1,240,756
販売費及び一般管理費	858,136	862,789
営業利益	324,669	377,966
営業外収益		
受取利息	858	102
受取配当金	5,249	7,281
その他	4,306	1,355
営業外収益合計	10,414	8,739
営業外費用		
支払利息	3,387	2,915
その他	2,579	456
営業外費用合計	5,966	3,371
経常利益	329,117	383,335
特別損失		
固定資産除却損	30	654
事務所移転費用	344	6,944
投資有価証券売却損	-	262
特別損失合計	375	7,862
税金等調整前四半期純利益	328,742	375,472
法人税、住民税及び事業税	101,453	125,366
法人税等調整額	12,726	1,217
法人税等合計	114,179	126,584
四半期純利益	214,562	248,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,326	7,414
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,236	241,473

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	214,562	248,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130,603	△15,527
為替換算調整勘定	2,006	△1,280
その他の包括利益合計	132,609	△16,808
四半期包括利益	347,172	232,079
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	340,272	224,874
非支配株主に係る四半期包括利益	6,899	7,204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,327,676	418,854	243,343	1,989,874	140,444	2,130,319	-	2,130,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,920	553	33,804	36,278	79,314	115,592	△115,592	-
計	1,329,597	419,407	277,147	2,026,152	219,759	2,245,912	△115,592	2,130,319
セグメント利益又は 損失(△)	240,899	135,249	△15,453	360,695	17,156	377,852	△53,183	324,669

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま
す。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全
社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,412,624	413,890	245,235	2,071,750	152,434	2,224,184	-	2,224,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,798	767	32,275	34,841	80,370	115,212	△115,212	-
計	1,414,423	414,657	277,510	2,106,591	232,805	2,339,397	△115,212	2,224,184
セグメント利益又は 損失(△)	288,654	128,129	△15,570	401,213	33,068	434,281	△56,314	377,966

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおりま
す。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全
社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	306,755	523,839
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△297,460	△176,212
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△251,852	△137,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	638	△1,308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241,918	208,904
現金及び現金同等物の期首残高	2,030,367	1,812,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,788,448	2,021,650

前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 328,742</p> <p>減価償却費 222,589</p> <p>未払金の減少額 △15,392</p> <p>法人税等の支払額 △172,907</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △38,116</p> <p>無形固定資産の取得による支出 △202,765</p> <p>投資有価証券の取得による支出 △81,378</p> <p>※3 自己株式の取得による支出 △283,096</p> <p>自己株式の処分による収入 120,464</p> <p>配当金の支払額 △50,986</p> <p>長期借入金の返済による支出 △37,620</p>	<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 375,472</p> <p>減価償却費 228,450</p> <p>売上債権の増加額 △28,858</p> <p>法人税等の支払額 △125,123</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △39,170</p> <p>無形固定資産の取得による支出 △184,896</p> <p>敷金の回収による収入 12,355</p> <p>※3 自己株式の取得による支出 △54,644</p> <p>自己株式の処分による収入 13,590</p> <p>配当金の支払額 △58,107</p> <p>長期借入金の返済による支出 △37,620</p>